

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	老人保健施設 明日葉
実習期間	平成 30 年 2 月 26 日 ～ 平成 30 年 3 月 2 日
学生氏名	岩崎 宏平
実習プログラム	<p>・ 1 日目 オリエンテーション、施設見学、通所リハビリ送迎見学 利用者とのコミュニケーション、リハビリ器具体験</p> <p>・ 2 日目 朝の挨拶・お茶配り、はつらつ体操、運動機能測定・プリント問題採点 体温・血圧測定、利用者の帰りの準備の補助</p> <p>・ 3 日目 医療器具・リハビリ器具体験、福祉製品の説明・体験 利用者とのコミュニケーション、リハビリ補助・体 利用者とのちぎり絵制作</p> <p>4 日目 朝の挨拶 体温・血圧測定、お茶配り、装飾づくり、レクリエーション 利用者とのコミュニケーション</p> <p>5 日目 利用者とのコミュニケーション、レクリエーション 買い物付き添い、ぼたもち作り</p>
学び・気づき (300 字程度)	<p>高齢者と会話をしていくという、簡単に思えることでも、難しいことだと思いました。言語障害のかたや耳が聞こえづらい方、同じことを何度も話す認知症の方など様々な利用者がいました。利用者が、どういった困難を持っているかは、接していかなければ分からないので、臨機対応が求められると思いました。また、施設内では歩行の訓練を行っている方や、車椅子で移動をする方が多いので、周りに気を付けながらの実習を心がけるべきだと思いました。</p> <p>利用者に頼まれごとをされたとしても、自分の判断だけでなく、周りの職員の方へ相談・報告をこまめに行っていく、情報の共有をしていきました。情報共有を行っていくことで、事故やミスを未然に防ぐ効果があると分かりました。</p>

<p>今後に向けた 抱負 (200字程度)</p>	<p>事前訪問や実習を通して、礼儀やビジネスマナーが至らない部分もあったので、今後の就職活動に向けて、見直していこうと思いました。</p> <p>今できることは、大学の福祉科目の講義内容を、自分で要点をまとめ上げていくことだと思いました。だから、今のうちに国家試験に向けた基礎力を身に付けていき、自分の時間を有効に使っていこうと思います。また、座学だけでなく、課題発見力、解決力も養っていきたいです。プレゼンテーションなどで、自分の考えを分かりやすく相手に伝える能力も、将来必要になってくると考えました。</p>
<p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p>	<p>老人保健施設の明日葉は、多くの機関と連携をとっている所以、様々な福祉についての情報を得ることができます。利用者とのコミュニケーションをとる場面実習が多くあり、自分の今の会話の力を試すこともでき、人と対話を重ねることについて深く考えることができます。多くの福祉の職種の方が勤務しているので、どんな仕事をしているかなど実際に見て、聞いていくことで、将来目指す職業を決めるきっかけにもなると思います。</p> <p>もし福祉の業界について調べても理解できていなくても、実習中に感じた疑問でも、質問を問えば、実習担当者の方や職員の方が丁寧に教えてくれます。</p>
<p>写真 (1~3点)</p>	